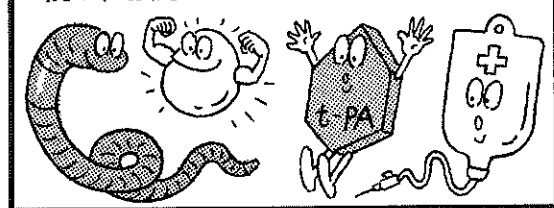


血流アップ酵素のすごい力

血流アップ酵素 **ウロキナーゼなど**

副作用がない	↔	副作用を生じることもある
口から摂取	↔	点滴などで注入
血栓を直接溶かす	↔	血栓溶解酵素を作る間接的な働きをする
効果が長時間持続し、強力	↔	効果が短時間で弱い



間にも血栓がつまることがあります。ミズのエラスチンをとれば血管内につまった血栓だけでなく、網目につまった血栓も溶かし、血行を促進します。

そのため、

も短時間で作用も弱く、内服（薬を飲むこと）できないため、点滴などで体内に直接注入します。しかも、出血が止まらなくなるという副作用が生じることもあります。

血流アップ酵素は血栓を直接溶かす作用があり、内服しても分解されず、効果が長時間持続します。

また、ウロキナーゼやtPAは、脳梗塞の発症後、2〜3時間以内でないと、副作

（勢起陣書）の改善にも効果があります。

以上のことから、私は脳梗塞の後遺症で悩む人だけではなく、生活習慣病や血栓が原因で起こる病気を予防したい人にも血流アップ酵素をすすめています。もちろん、血流アップ酵素は誰にも同じように効果が現れるわけではありませんが、病気の予防や治療の一助に役立つと私は考えています。

私は、血流アップ酵素に関する研究を調べて、私のクリニックの患者さんに使ってもらいました。

血栓が原因で下肢動脈閉塞（足の血管がつまり激痛や細胞の死滅が生じる病気）を発症して歩けなかった人は、血流アップ酵素を飲んで数日後には、歩けるようになりました。脳梗塞で軽いマヒのあった人が血流アップ酵素を飲んだら、30時間後にはマヒが軽快したのです。さらには、脳梗塞で左半身マヒがあり、杖なしでは歩けなかった人は、血流アップ酵素を飲んで2週間後には杖なしで歩けるよう

では、血流アップ酵素には、なぜこのような素晴らしい効果があるのでしょうか。血流アップ酵素は食用の赤ミミズの有効成分を抽出したもの。ミミズは、古代から、解熱・鎮痛・炎症作用があるとされ、漢方薬や民間薬として珍重されてきました。最近になって、ミミズに血栓を溶かす働きのある酵素が含まれていることが発見され、1983（昭和58）年に初めて国際学会で発表されました。血管はコラーゲン（膠原線維）とエラスチン（弾力線維）とエラスチン（弾力線維）が網の目のように編まれてできていますが、この網の目の

●●●寝たきりの人が
起き上がった

血流アップ酵素の血栓を溶かす働きは病院で使われる薬以上であることも明らかです。現在、血栓溶解薬として使われるウロキナーゼやt-PAは、血栓を直接溶かすものではなく、体内でプラスミンと呼ばれる血栓溶解酵素を作り出し、間接的に血栓を溶かします。これらの薬は効果

用が出来るので使えませんが、血流アップ酵素は、発症してから数日後でも、飲んで30時間以内に症状が回復する場合があります。多いのです。脳梗塞が発症して半年以上たち、後遺症によるマヒで寝たきりの人も、血流アップ酵素を飲んで起き上がったケースもあります。

認知症も、脳血管障害によるものなら、血流アップ酵素によって、早い人の場合は数週間くらいで改善効果の現れる人がいます。血流アップ酵素を飲めば血流がよくなり、高い血圧や血糖値が下がり、生活習慣病の改善にも役立ちます。ミミズの強い生命力と血行促進の働きから、ED

血管のつまりを溶かして脳梗塞の怖い再発を

防ぎ、マヒもボケも
退くと医師も驚く **血流アップ 酵素**

●◆● 半身マヒだった人が
杖なしで歩けた

最近、脳の血管がつまる脳梗塞になる人が急増しています。脳梗塞になると、半身マヒや言語障害など、日常生活に大きな支障が生じる場合も少なくありません。

近年、食の欧米化や運動不足による肥満など、食生活の変化が進んだことで血液の成分が変わってしまい、それが一因となって、血栓症になる人が増えていきます。

血栓症になると、血管内に血の塊、いわゆる血栓ができて、血管を狭めたり、塞がりします。脳梗塞や心筋梗塞などの血管障害は、血栓症を一因として起こります。

血栓症は、40代で5人に1人、50代では3人に1人、60代では2人に1人、70代以上ではほぼ100%の人がなっているといわれます。脳梗塞

脳梗塞の片マヒや物忘れを早ければ1カ月で治す驚異の血液浄化食「血流アップ酵素」が注目の的

になる可能性は、中高年なら誰にもあるというわけです。

こうした血橙を防ぐために大切なのは、毎日の食生活です。特に脂肪や糖のとりすぎをさけることです。私は血液浄化力の優れた食品として有名な黒酢や大豆・青背の魚な

どの食品を毎日食べるようすすめていきます。

また、私は血液をサラサラにし、血栓も溶かす力が抜群に強い食品に出会いました。それが血流アップ酵素(ミミズ酵素とも呼ばれる。くわしくは囲み内の解説を参照)で

血流アップ酵素とは

食用のミミズが原料

血流アップ酵素の原料は、適切な養分を含んだ飼料で清浄に育てられたレッドウォームという食用のミミズ。この食用ミミズを、特殊な技術で凍結・乾燥したものが「血流アップ酵素（ミミズ酵素）」と呼ばれ、いくつかの種類の商品が市販され、話題を呼んでいる。

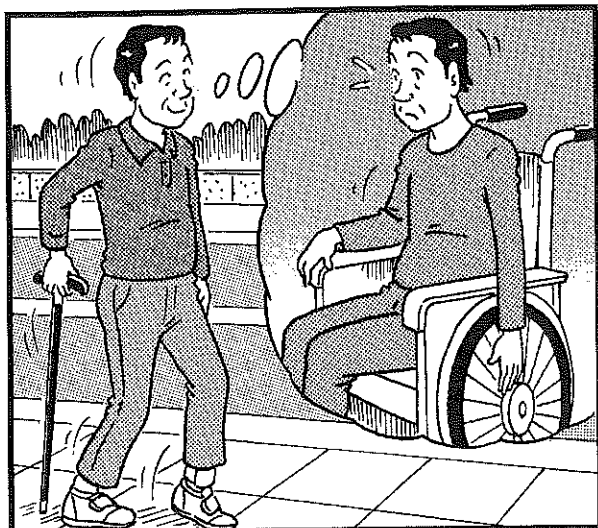
漢方薬として珍重された

ミミズは、古代から漢方薬や民間薬として使われ、解熱・鎮痛・抗炎症作用があるとして珍重されてきた。

そして、最近になって、ミミズに血栓（血の塊）を溶かす働きのある酵素が発見された。この酵素の働きは1983（昭和58）年に初めて国際学会で発表され、大きな注目を集めるようになった。



原料は食用三三ス



車イス生活から自分の足で歩けるようになった

川鍋さんは血流アップ酵素を6年前に

群馬県に住む川鍋政雄さん(64歳)が、脳梗塞を発症したのは、今から8年前のことでした。

◆車イス生活を克服し
今は2キロも歩ける

脳梗塞で車イス生活になったが、 血流アップ酵素とリハビリで 歩けるようになり、外出もできた

夢21
医学研究班

院に運んでくれたのです」川鍋さんは、その1年前には、心筋梗塞を起こしたことがありました。そのさい、医師から処方された薬を、きちんと飲んでいなかったせいだろうと川鍋さんはいいます。

心臓にできた血栓(血液の塊)が脳に移動して、脳梗塞を起こしたのです。

「5カ月間、入院しましたが、左半身が完全にマヒしていた、最初のうちは手も曲がらず、足も上げられない状態でした。リハビリ(機能回復訓練)を行った結果、1人で、トイレで用を足したり着替えをしたりできるようなり、ようやく退院できたのです。とはいえ、なかなか思うように歩行ができず、車イスが必要でした」

川鍋さんは血流アップ酵素を6年前に

首だけガードする装具でも歩けるようになったそうです。



兵庫県に住む山下幸太郎さん(65歳・自営業)が脳出血で倒れたのは、今からちょうど10年前のことでした。

◆飲みはじめて半年後に
血圧が正常化

脳出血による左半身マヒが 半年で軽快した秘密は、毎日の 1万歩歩きと血流アップ酵素

夢21
医学研究班

すぐに名古屋市内の病院に救急車で運ばれたという山下さん。そのときに血圧は、なんと最大血圧が300mmHg(最大血圧が140mmHg以上、また最小血圧が90mmHg以上なら高血圧)もあったそうです。

「そのころ仕事の売り上げも右肩上がりでした。休みなく働いた結果、疲労とストレスで、血圧が上がっていたのでしよう。また仕事上の接待酒も多く、暴飲暴食の毎日だったことも影響していたのではないかと思います」

「友人が、いいものがあるから飲んでみたらというので、聞けば血流アップ酵素のこと。効果がいろいろあったので、毎日6粒ずつ、欠かさず飲むようにしたのです」



脳梗塞も再発せず、血糖値も血圧も改善

東京都に住む遠藤弘さん（61歳・会社員）は2年前、急に体の異変を感じました。「ある晩、仕事から帰ってくると、なぜかヨダレが出て、とてもしゃべりづらかったのです。そのときは、体が疲れているのかと思い、ひと晩ゆっくり眠れば治るのではないかとベッドに入りました。し

かし翌朝に目覚めても、ヨダレが出てしゃべりづらさが残っていたので、これは変だと思い、病院に行ったのです。病院でMRI（磁気共鳴断層像法）などの検査を行った結果、脳梗塞と判明。1週間ほど入院したそうです。「軽い脳梗塞だったようで短期の入院ですみ、マヒなどの後遺症も幸いにして残りませんでした。しかし私は糖尿病と高血圧の治療中で、ほかの

◆再発率が50%と
◆医師にいわれた

血圧や血糖値が高く、再発率も高いといわれた脳梗塞の再発が血流アップ酵素で防げた

夢21
医学研究班

かし翌朝に目覚めても、ヨダレが出てしゃべりづらさが残っていたので、これは変だと思い、病院に行ったのです。病院でMRI（磁気共鳴断層像法）などの検査を行った結果、脳梗塞と判明。1週間ほど入院したそうです。「軽い脳梗塞だったようで短期の入院ですみ、マヒなどの後遺症も幸いにして残りませんでした。しかし私は糖尿病と高血圧の治療中で、ほかの

「あなたにピッタリの食品がある」と血流アップ酵素をすすめてくれたのは今から4カ月前のこと。血液をサラサラにする効果が高く、脳梗塞の予防にも高血圧や糖尿病にもいいと教えてくれたのです。遠藤さんは、以前にも健康増進に役立つといわれる食品を試したことがありました。が、効果を感じなかったそうです。今回は知人が熱心にすすめるので、とにかく飲んでみようと思ったとのこと。

「今飲んでる薬の量も減らすことができます。こんなにいいことはありません。血流アップ酵素にはとても期待をしていると、遠藤さんは話してくれました。」

実は遠藤さんは、医師から、5年以内に脳梗塞が再発する確率は50%と高いために、気をつけるようにいわれていたそうです。しかし、血流アップ酵素を飲みつづけていけば、再発を防ぐことができると思っています。

「血流アップ酵素は、食後に1粒ずつ飲んでいきます。飲みはじめ、10日後くらいから、体調がよいと感じるようになりました。そして、先日行った健康診断では、予想以上にうれしい結果が出たのです。200ミリを越えていた血糖値が、200ミリを下回ってました（基準値は110ミリ未満）。126ミリ以上で糖尿病。また180ミリ以上あった最大血圧も、130ミリにまで下がっていたのです（最大血圧が140ミリ以上、または最小血圧が90ミリ以上なら高血圧）。高血圧だった中性脂肪値も、改善していました。」

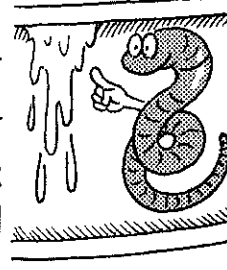
血流アップ酵素の働き

血栓を直接溶かす

病医院で使われる血栓溶解薬は血栓溶解酵素を作ることによって血栓を間接的に溶かすが、血流アップ酵素は血栓を直接溶かすため、働きが強力。

血流がアップする

血栓を溶かすため、血流が大幅にアップする。そのため、高い血圧や血糖値が下がり、多くの生活習慣病や不快症状の改善効果が期待できる。



たらず出社すると上司にいいました。ところが上司は一刻も早く救急車を呼んで病院へ行くようにと強くすすめるのです。そして、自分の知り合いが理事長をしている病院に連絡をしてくれました。救急車を呼ぶほどではないと思っていた河野さんは、夕

クシーで上司が紹介した病院に向かいました。病院に着くと、すぐに看護士さんが迎えてくれ、理事長も検査に付き添ってくれたそうです。「MRI（磁気共鳴断層像法）検査の結果、初期の脳梗塞とわかりました。血圧も高くなつており、最大値は180ミリ、最小値は120ミリありました（最大血圧が140ミリ以上、または最小血圧が90ミリ以上なら高血圧）。中性脂肪値も600ミリ（基準値は150ミリ未満）あり、正常値を大幅に上回りました。くわしい検査結果が出るまでは、しばらく様子を見ることになり、薬は処方されませんでした。」

「友人は、乳ガンの手術をしており、再発防止のために血流アップ酵素を飲んでいました。血液がサラサラになるので、きつと脳梗塞にもいいはずだということです。お見舞いということで、血流アップ酵素を送ってくれました。」

早速、血流アップ酵素を毎日飲むようにしたという河野さん。倒れてから2週間後、もう一度検査を行ったときには、検査値が大幅に改善されていたそうです。「血圧は最大値が130ミリ、最小値が70ミリまで下がっており、正常域になっていました。そして、中性脂肪はまだ高めですが、300ミリと半分になっていたのでした。そういえば、漢方薬の講演会で、血流アップ酵素の原料である赤ミミズが、漢方薬として使われていると聞いたことがあり、確かに、ミミズは体にいいと実感できました。」

血流アップ酵素を飲んだら、2週間血圧も中性脂肪値も急低下し、初期の脳梗塞の再発もなし

夢21
医学研究班

福岡市に住む河野朱美さん（55歳・会社員）は6年前にご主人を脳梗塞で亡くし、お子さんは東京在住のため、独り暮らしをしていました。そんな河野さんが倒れたのは、4年前のことです。「朝起きて、トイレから出ると、右足に違和感を覚え、トイレと居間のスリッパ

をはきかえ、1〜2歩進むと、右のスリッパが鉛のように重く感じたのです。居間に戻ったとたん、右足が全く動けなくなり、その場で倒れこんでしまいました。」

「友人は、乳ガンの手術をしており、再発防止のために血流アップ酵素を飲んでいました。血液がサラサラになるので、きつと脳梗塞にもいいはずだということです。お見舞いということで、血流アップ酵素を送ってくれました。」

早速、血流アップ酵素を毎日飲むようにしたという河野さん。倒れてから2週間後、もう一度検査を行ったときには、検査値が大幅に改善されていたそうです。「血圧は最大値が130ミリ、最小値が70ミリまで下がっており、正常域になっていました。そして、中性脂肪はまだ高めですが、300ミリと半分になっていたのでした。そういえば、漢方薬の講演会で、血流アップ酵素の原料である赤ミミズが、漢方薬として使われていると聞いたことがあり、確かに、ミミズは体にいいと実感できました。」

趣味の家庭菜園と血流アップ酵素

で脳梗塞の左半身マヒを克服し、歩いて通勤ができるまで回復

夢21
医学研究班

◆213週間後には杖なしで歩けた

神奈川県に住む水上進さん（60歳・会社役員）が倒れたのは、今から2年前でした。「朝5時に目が覚めると、なんとなく体の様子がおかしいと思いました。そして、起き上がってトイレに行こうとすると、左半身がマヒして力が入らず、ドタンと倒れてしまいました。その瞬間、これは脳梗塞ではないかと自分

で予想がつかしました」

倒れても意識ははっきりしていたので、会社の部下に電話で仕事の指示を与えたあと、水上さんは救急車を呼びました。病院に運ばれ、即入院することになったのです。「私はもともと暴飲暴食をしていましたし、1日にタバコは5箱も吸っていました。しかし、それまで健康には絶対の自信を持っていましたし、その証拠に30年以上も力ぜひとつ引いたことがありません

でした。実をいうと、私は食品関係の会社を経営しているの、体にいいといわれる食品を積極的にとるように心がけていたのです。そんな私自身が入院することになり、ちょっとショックでしたね」入院して1週間後からは、マヒした左半身を回復させるためのリハビリ（機能回復訓練）を病院で行いました。

そして、2カ月後に退院するときには、杖をついて歩けるまでになっていました。そんな水上さんは、退院と同時に血流アップ酵素を飲みはじめたそうです。

「入院しているときに、知人が持ってきてくれたのです。入院中は病院の薬以外は飲むことができなかったもので、退院したらすぐに飲むと思った

ました」水上さんは、退院したその日から、毎日朝晩2粒ずつ血流アップ酵素を飲みつづけてきました。同時に病院の薬も飲みましたが、驚くほど早く体が回復していったそうです。

「退院してから、杖は213週間しか使いませんでした。不完全ながらも自分の足だけ

で歩けるようになったからです。脳梗塞でマヒが残ると、茶わんも持てないと聞きますが、すぐに茶わんも持てるようになったりました」

314カ月は、病院にリハビリに通ったそうですが、最もリハビリに役立ったのは、趣味で家庭菜園をやっていたことだといいます。

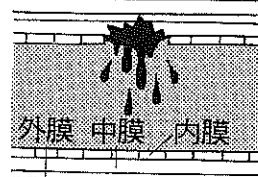
病院のリハビリだと、与えられた課題をこなすだけでなく、なかなか大変。その点、好きな家庭菜園をやりながら、楽しく体を動かしていたのがいいリハビリになったというのです。

「医師がいうには、脳梗塞の後遺症のマヒは、半年過ぎても残っていたら、そのまま一生残ることです。しかし、私の場合には、その後ほとんど改善することができ、現在ではほとんど回復しています。会社にも自分の足で通勤できるようになっているのです」

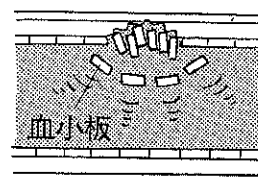
脳梗塞になったことは、逆に今ではいい経験になったという水上さん。血流アップ酵素には心から感謝しているそうです。

血栓ができるしくみ

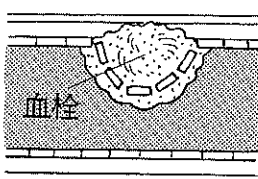
①血圧の影響やドロドロになった血液により血管を傷つけてしまい、出血する



②出血した箇所に血小板が集まりフィブリンと共に出血を止める



③この出血時の、血小板とフィブリンの働きによってできるのが血栓



④傷が治ればプラスミンが生成され血栓を溶かす。この働きがないと血栓が残る

